

ユースワークの視点を取り入れた取組の推進

こども青少年課

1 目的

ユースワークの視点を取り入れた居場所づくり事業や体験型事業、青少年自らが企画したイベント等を行うことで、中・高校生をはじめとした若者が様々な人と接し、様々な経験を積み、社会性や自己肯定感を育むこと。

2 現状

ユース交流センターで実施している「居場所づくり事業」や「イベント企画事業」の参加者は着実に増加しており、利用者の広がりや中高生の認知が高まっています。また、若者が主体的に社会課題の解決に取り組み、市に提言する「ユースカウンスル事業」を実施し、令和3年度は、スケートパークの設置に取り組む若者グループと行政が具体的な検討を開始したほか、ヤングケアラー支援を行う任意団体が設置され、居場所づくり事業を実施するなど、具体的な活動につながっています。ユースワークの全市展開については、ユースワーカー養成講座の開催や各地域課と連携してサテライト事業を実施しています。

3 課題

ユース交流センターでは、スタッフと関係性を構築する中で悩みを聴いてほしいという若者が増加し、相談できる場所としての重要性が高まっています。今後、スタッフの体制の強化や関係機関との連携が一層必要になっています。

4 施策の方向性

ユースカウンスル事業を継続し、若者の声や意見を市政に反映させる取組を進めます。また、若者が気軽に相談できる機会や場を増やすため、引き続きユースワーカーの養成や人材育成に取り組むとともに、関係機関と連携し、悩みを抱えた若者の支援に取り組めます。

以 上